

2021年度 第3回10月東大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 下線の付け忘れは1問につき1点減点。
- ③ 指定用語不使用は，指定用語1つにつき1点減点。  
(解答中のどこかで使用していればよい。  
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは1点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) \_\_\_\_\_部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

第1問 (20点)

設問A

(1) 2点

A－中国 B－ロシア C－インド D－ミャンマー

※4個正解 →2点 1～3個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 4点 ※ [指定語句] 河口 吸い上げ 2つ全て 下線付きで使用

低気圧による吸い上げと強風による吹き寄せで海面が上昇する高潮や、大量の降雨による河口付近の氾濫で、沿岸低地が水没する。(2行)

【加点ポイント】

- ① (災害として) 低地の水没／洪水／河口付近の氾濫／河口付近の浸水  
／河川の氾濫／低地の浸水／家屋への浸水 →1点
- ② (①の要因) 高潮 →1点
- ③ (②の理由と内容) 「低気圧による吸い上げ／海面が吸い上げられる／強風による吹き寄せ」で  
「海面が上昇する／海面水位が上がる／海水が堤防を越える  
／河口や海岸付近に海水が流入する」 →1点
- ④ (①の要因) 大量の降雨／暴風雨／大雨 →1点

(3) 3点

熱ストレスの影響を受けやすい高齢者の人口が多い上、平年の気候が冷涼なため冷房設備など生活環境での暑熱対策が遅れている。(2行)

【加点ポイント】

- ① 暑熱対策が遅れている／冷房設備が普及していない／熱中症などの周知や対応が不十分 →1点
- ② (B国の人)は、平年は冷涼なので 熱ストレスの影響を受けやすい／暑さに弱い  
／気温変化への適応が難しい →1点
- ③ 高齢者が多い／高齢化が進んでいる →1点

(4) 4点 ※ [指定語句] 山地斜面 就業機会 谷底平野 3つ全て 下線付きで使用  
平地は極めて狭く、海岸に迫る山地斜面を削る急流が谷に土砂を堆積させているが、就業機会を求めて流入した多くの貧民層が急峻な山地斜面上や谷底平野などにスラムを形成して集住していた。(3行)

【加点ポイント】

- ① (地形的要因) 平地が狭い／海岸まで山地斜面が迫る／谷底平野が狭い →1点
- ② (地形的要因) 急流が多い／山地斜面は急傾斜である／急斜面が多く山崩れが起きやすい  
／谷底平野は土石流などの被害に遭いやすい →1点
- ③ (社会的要因) 就業機会を求めて多くの人が流入した  
／多くの人が流入するが就業機会は少ない →1点
- ④ (③は) 危険な場所にスラムを形成して集住する／土砂災害が起きやすい山地斜面にしか住めない  
／山地斜面 (谷底平野) など危険な地域に多く住んでいる →1点

設問B

(1) 4点

Y。平時は内水を排水しやすく、洪水時は氾濫水を速やかに本川に戻し水害を軽減するよう、不連続な堤防が上流側に開いている。(2行)

【加点ポイント】

- ① (上流側は) Y →1点
- ② (①の根拠) 不連続な堤防／堤防に切れ目がある／堤防に開口部がある／霞堤 →1点
- ③ (②は) 上流側に開く →1点
- ④ (②の役割) 洪水時の氾濫水を本川に戻す／平常時は内水(雨水)を排水しやすくする →1点

(2) 3点

土地のかさ上げや人工被覆の拡大が不連続堤防の機能を低減させ、新住民の増加で伝統的治水への理解・協力の獲得が困難になる。(2行)

【加点ポイント】

- ① 不連続堤防の機能が低減する／洪水時の遊水地(遊水池)が減る →1点
- ② (①の理由) 土地のかさ上げ／人工被覆の拡大／土地のコンクリート化／水田の宅地化 →1点
- ③ 伝統的治水(霞堤)への理解・協力の獲得が困難になる  
／連続した堤防建設の希望が高まる →1点

第2問 (20点)

設問A

(1) 1点 (完答)

A-米 B-小麦 C-とうもろこし

(2) 3点

所得水準の向上による食生活の多様化により、主食穀物の消費は伸び悩む反面、畜産品の消費が増えて飼料作物の需要が高まった。(2行)

【加点ポイント】 (※(1)の可否は問わない)

- ① 穀物の消費は伸び悩む／穀物以外の食物の需要増加 →1点
- ② 飼料作物の需要が高まった／とうもろこしは飼料としての需要が高まった →1点
- ③ (①②の理由) 畜産品の消費増加／肉食の増加／食生活の多様化／所得向上 →1点

(3) 3点

ウとエ。これらの島は人口稠密で米の需要が大きい、山地が多く大河川の流れる平野が乏しいため、傾斜地にも水田が築かれた。(2行)

【加点ポイント】

- ① (棚田が多い地域の記号)「ウ」と「エ」 →1点
- ② (①の理由)・山地が多い／平野が乏しい／新期造山帯に属し山がちな地形である →1点
- ・人口稠密である／人口密度が高い／人口が多い →1点

(※②は①の加点を前提としない)

(4) 3点 ※ [指定語句] 緯度 季節 2つ全て 下線付きで使用

冷涼な日本のソバ産地と同程度の緯度であるため、栽培に向く。また、季節が正反対の日本の端境期に合わせてソバを出荷できる。(2行)

【加点ポイント】

- ① 日本のソバ産地と同程度の緯度／日本と緯度帯が同じ／冷涼な気候の緯度に位置する →1点
- ② 日本と季節が逆である →1点
- ③ (②により) 日本の端境期に出荷できる／日本で品薄な時期に輸出できる →1点

設問B

(1) 1点 (完答)

X-ウルクアイ Y-グアテマラ Z-チリ

(2) 1点 (完答)

a-装飾用切花 b-コーヒー豆 c-大豆

(3) 4点

低緯度のアンデス高地は日射量が豊富で温帯の初夏に近い気温が年中続き、先進国向け切花を年中生産できる。また、農園労働者の人件費が安く、航空交通網の発達で遠距離輸送もし易くなった。(3行)

【加点ポイント】

★(2)「a-装飾用切花」の正解を加点の前提とする

- ① (自然的要因) 年中、温帯の初夏に近い気温／年中温暖／年中冷涼／常春気候である →1点
- ② (①の理由) 低緯度の高地／熱帯地域の高地 →1点
- ③ (社会的要因) ・人件費が安い／安価な労働力 →1点  
・航空交通網の発達／ハブ空港の発達／航空輸送がし易くなった →1点

(4) 4点 ※ [指定語句] 大型機械 住み込み労働者 ファベレーラ 3つ全て 下線付きで使用  
農村では、大型機械や農薬を用いた大規模栽培が導入され、農園の住み込み労働者の多くが余剰労働力となり大都市に流入したが、就業機会は不十分で、貧困層の集住するファベレーラを拡大させた。(3行)

【加点ポイント】

★(2)「c-大豆」の正解を加点の前提とする

- ① (農園の変化) 大型機械の導入／大型機械により人手が不要になった →1点
- ② (①により) 住み込み労働者の多くが余剰労働力となった／住み込み労働者が解雇された →1点
- ③ (②は) 大都市に流入／職を求めて都市に移動 →1点
- ④ (③により) ファベレーラが拡大した／就業できずファベレーラに集まる →1点  
(※「ファベレーラ」を「スラム／貧民街」の意で使用していれば加点する)

第3問 (20点)

設問A

(1) 各1点×3

a-ヨーロッパ c-ラテンアメリカ e-アジア (※b, dについては不問)

(2) 4点 ※ [指定語句] 余剰 冷戦 LCC 3つ全て 下線付きで使用  
人口増加で余剰労働力を抱える発展途上国から先進国・産油国への移動や、冷戦終結に伴う地域紛争や混乱から逃れる移動などが、航空自由化によるLCCの普及にも後押しされて拡大している。(3行)

【加点ポイント】

- ① 「発展途上国／農業国／低賃金国」から「先進国／産油国／工業国／高賃金国」への移動 →1点
- ② (①の背景) 余剰労働力の発生／余剰人口の発生／人口爆発 →1点
- ③ 冷戦終結による混乱／冷戦終結に伴う地域紛争／内戦 から逃れるための移動 →1点
- ④ (①③の背景) LCCの普及／LCCにより低価格で国際移動ができる →1点

設問B

(1) 1点 (完答)

B－アラブ首長国連邦 D－イギリス (※A, Cについては不問)

(2) 3点

Aには建設作業などの単純労働者として男性が単身で、Cにはソフトウェア技術者などの高技能専門職として家族一緒に移動する。(2行)

【加点ポイント】

- ① (Aへの人材) 単純労働者／建設業 →1点
- ② (①の特徴) 男性が単身で／男性が出稼ぎで →1点
- ③ (Cへの人材) 高技能専門職／ソフトウェア技術者／高学歴者／理数系の技術者／留学生 →1点

(3) 3点

都市建設を通じた金融・物流・観光などの育成により石油依存経済からの脱却を図るが、人口が希薄で慢性的な労働力不足である。(2行)

【加点ポイント】

★(1)「B－アラブ首長国連邦」の正解を加点の前提とする

- ① (経済的要因) 石油依存経済からの脱却を図る／原油のモノカルチャー経済からの脱却のため →1点
- ② (①の方策) 金融・物流・観光産業の育成／リゾート都市の建設／ハブ空港の建設 →1点
- ③ (社会的要因) 人口が少ない／労働力不足 →1点

設問C

(1) 3点

中国籍は一時的に在留する専門的技術労働者や留学生が、韓国・朝鮮籍は戦前に移住した人々をルーツとする永住者が多いから。(2行)

【加点ポイント】

- ① (中国籍は) 専門的技術労働者／留学生が多い →1点
- ② (韓国・朝鮮籍は) 戦前に移住した人々とその子孫  
／朝鮮半島が植民地だった時に来日した人々 →1点
- ③ ①は一時的な在留／①は永住しない／②は永住者が多い／②は高齢者や2世3世も多い →1点

(2) 3点

ベトナム籍は農業などを担う技能実習生が、ブラジル籍は日本に定着し、製造業に従事する日系ブラジル人とその家族が在留する。(2行)

【加点ポイント】

- ① (ベトナム籍は) 技能実習生 (外国人技能実習生) が多い／技能実習制度による来日が多い →1点
- ② (ブラジル籍は) 製造業 (自動車産業) に従事／単純労働に従事／就労のために家族と来日 →1点
- ③ (②は) 日系人／日系ブラジル人 →1点